

経営比較分析表（令和元年度決算）

大阪府箕面市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	26	対象	I 訓	救 臨 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
138,377	34,067	非該当	7 : 1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

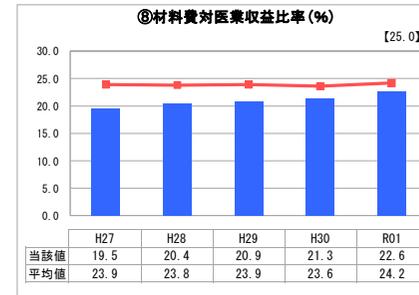
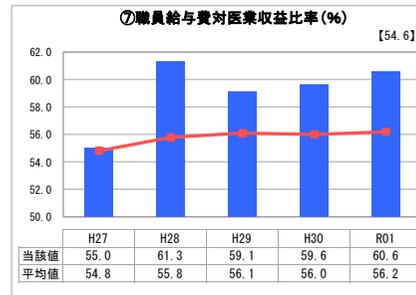
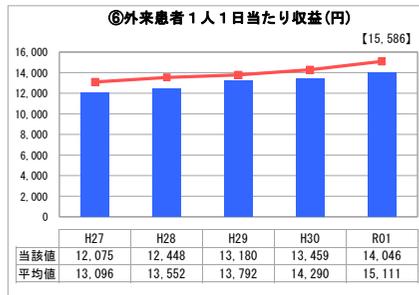
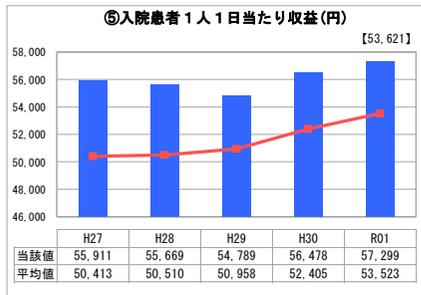
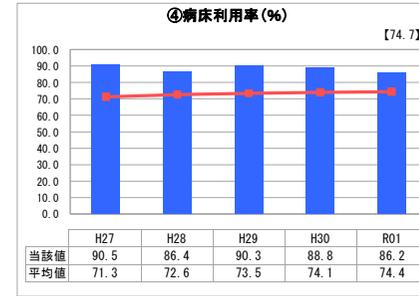
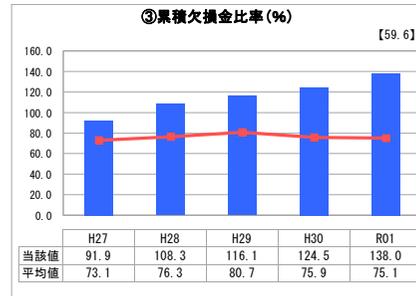
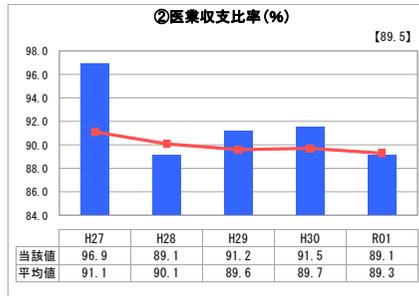
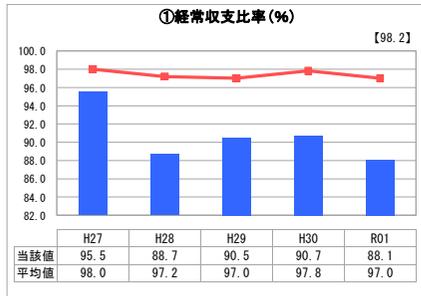
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
317	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	317
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
317	-	317

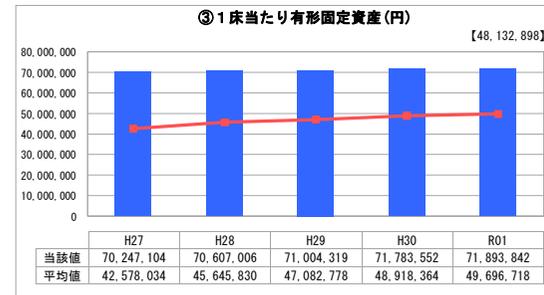
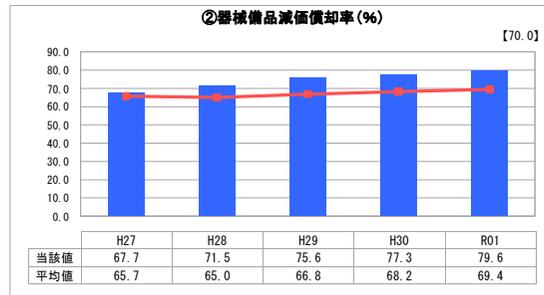
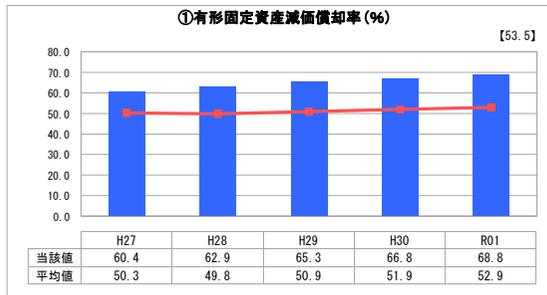
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

地域医療支援病院として、かかりつけ医との紹介・逆紹介を推進するとともに、市内で唯一の二次救急医療機関として救急医療の提供や、地域の医療従事者に対する研修の実施等により地域全体での医療レベルの向上に努めています。
また、大阪府がん診療拠点病院として、国指定の拠点病院と連携し、5大がんを中心とした治療水準の向上や、緩和ケアの充実、患者・家族等に対する相談支援を行い、地域でのがん医療の充実に努めています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は類似病院平均値を下回り、医業収支比率については平成28年度及び令和元年度は下回っていますが、**その他の年度は上回っています**。これは、当院が繰入金に依存しない運営を行っていることによるものです。
病床利用率、入院患者1人1日当たり収益、材料費対医業収益比率は類似病院平均値よりも良好な値を示しています。
外来患者1人1日当たり収益が類似病院平均値を下回っているのは、当院がすべて院外処方箋を発行しているためと考えられます。

2. 老朽化の状況について

建設から**38年**が経過していることから、有形固定資産減価償却率、**器械備品減価償却率**とも類似病院平均値を上回っており、老朽化が進んでいます。1床当たり有形固定資産が類似病院平均値を上回っているのは、平成8年にリハビリテーション棟を増築した際に、リハビリテーション室や研究室など比較的余裕のある施設配置をしたことによるものです。

全体総括

平成28年度に病床利用率が86.4%まで低下し、経常収支比率も88.7%となり大幅な赤字を計上しました。このため、平成29年に従来の改革プランを見直ししました。その後、平成30年8月にも再度目標数値を見直し、経営改革に取り組んでいます。
また、令和元年度から、注力すべき診療科ごとの疾患群の洗い出し等、多方面からの収益改善に向け、外部機関による経営分析を開始しました。
さらに、施設の老朽化が進んでいることから、平成28年度からリニューアルの調査検討に着手し、平成29年度に移転建替の方針を決定しました。
建替にあたっては1床当たり有形固定資産の指標にも注目し、過剰な投資とならないように配慮し、効率的な運営ができる施設を整備していきます。